

令和5年

新入学(園)児童・園児の 交通事故防止運動

期間 4月6日(木)から12日(水)までの7日間

運動の
スローガン **あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう**

運動の 重点

- 1 新入学(園)児童・園児の交通事故防止
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 道路横断中の交通事故防止

1 新入学(園)児童・園児の交通事故防止

◆ 子供の交通事故被害状況

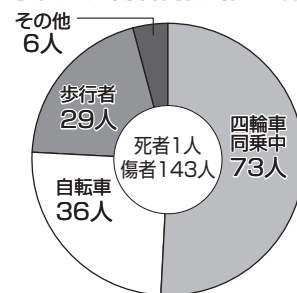
令和4年中、県内では交通事故で1人(前年比+1)の子供が死亡し、負傷したのは143人(前年比+7人)で、依然として多くの子供が犠牲となっています。

◆ 歩行中の事故防止

子供の歩行中の交通事故原因で、最も多いのは「飛び出し」です。



令和4年中
子供の死傷者内訳(状態別)



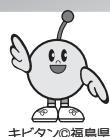
- 『信号を守る』『歩道を通る』『横断歩道を渡る』『止まる、待つ、見る』を習慣付けましょう。
- 特に保護者の方は、子供と一緒に通学路などを歩き、安全な歩き方・手あげ横断などの横断の仕方、信号の見方などを教えましょう。
- 運転者は、通学路などを通行する時には、急な飛び出しなどを想定し、思いやりの気持ちを持ち、スピードを落として安全運転に努めましょう。

◆ 自転車乗用中の事故防止

子供の自転車事故の原因は、安全不確認、交差点安全進行義務違反などで、交差点で多発しています。

- 自転車も「車両」であることを教え、「自転車の正しい通行方法」「ヘルメットの着用」「早めのライト点灯」「夜光反射材の装着」「点検整備」等を行い、安全な自転車利用に努めましょう。

年間スローガン：**わたります 止まるやさしさ ありがとう**



キビタン®福島県

主唱 福島県・福島県交通対策協議会



2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

◆ 子供の四輪車同乗中の交通事故防止

子供が被害に遭う交通事故の中で、最も多いのが四輪車同乗中の事故です。



- 運転者は、同乗者全員がシートベルトやチャイルドシートを正しく着用したことを確認してから発車しましょう。
- 運転者は、学校への送迎などで子供が乗車しているときは、特に注意して安全運転に努めましょう。

◆ シートベルトはあなたと同乗者の命綱

令和4年中県内では、四輪車乗車中の死者は16人（前年比－4人）で、うち4人（前年比－6人）は、シートベルトを着用していませんでした。

非着用の4人全員がシートベルトを着用していれば、一命をとりとめたと思われます。

- 運転席、助手席はもちろん、後部座席についてもしっかり着用しましょう。
- 大切な子供の命を守るため、チャイルドシートを確実に取り付け、正しく使用しましょう。

3 道路横断中の交通事故防止

◆ 道路横断中の交通事故防止

歩行者が被害に遭う道路横断中の交通事故が多発しています。

- 運転者は、横断歩道の付近で新入学（園）児童・園児をはじめ、歩行者を見かけたら速度を落としましょう。また、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいれば、その通行を妨げないよう一時停止して、歩行者の保護に努めましょう。
- 保護者や学校等では、道路を横断する際は無理な横断をしないこと、近くに横断歩道などがある場合は、必ず横断歩道を渡ること、また、道路を横断する時は**手をあげるなどして横断する意思を明確に運転手に伝える**など、正しい道路の横断を子供に教えましょう。

◆ 横断歩道一時停止率の更なる向上を目指し

昨年8月JAFが実施した、信号機のない横断歩道での自動車の一時停止率調査で福島県は、前回と比較し23.2%改善し、全国順位は20位から9位へと上昇しました。

道交法38条1項では、横断しようとする歩行者等がいるときは、一時停止しなければならないことが明記されています。横断者がいれば必ず停止してください。

信号機のない横断歩道での一時停止率（JAF調査）

令和4年			令和3年		
順位	県名	停止率	順位	県名	停止率
1	長野県	82.9%	1	長野県	85.2%
2	兵庫県	64.7%	2	静岡県	63.8%
3	山梨県	64.6%	3	山梨県	51.9%
	...			...	
9	福島県	55.3%	20	福島県	32.1%
	全国平均	39.8%		全国平均	30.6%